

今治商工会議所会報

IMABARICCI URL <https://www.imabaricci.or.jp/>

2023



No.856

4商工会議所会頭会議開催



会議風景

2月22日(水)、松江商工会議所において、やまなみ街道・しまなみ海道で繋がる4つの会議所（松江、尾道、

今治、松山）で構成される会頭会議が開催され当所からは山本副会頭が出席した。

会議では、令和4年度の広域連携事業報告と令和5年度の連携事業に向けた取組等について協議され、その後の情報交換では、松江のまちづくり会社として地域住民や企業が活躍を実感できる持続可能な地方創生を地域の中間

支援組織として実践する「株式会社まつくる」の概要説明に続き、各地の景況等についての意見交換を行った。

令和4年度は新しい生活様式を意識しながらではあるが、3年ぶりとなるリアル物産展や対面での商談会も実現するなど、少しずつ経済の回復に寄与する活動も実施できた。今後もアフターコロナ、Withコロナへの対応を見据えた事業の進め方を検討し、経済の活性化と域外からの誘客促進、交流人口拡大に繋がるよう引き続き当連携事業を効果的に実施していく。

日本商工会議所にて先進地事例を発表 テーマ「今治を世界中のサイクリストの聖地に！」



松本専務理事による講演

2月15日(水)、東京會館にて、日本商工会議所観光・教育・産業経済・地域活性化合同委員会が開催された。当所松本専務理事が講師を務め「今治を世界中のサイクリストの聖地に！～サイクルスポーツとしてのクリテリウム大会を通じ今治から自転車新文化を発信～」のテーマで講演を行った。

当日はハイブリッド形式で全国の

会頭・専務理事など約200人の参加があった。

今治商工会議所は青年部とともに「サイクリストの聖地・今治」の認知度を高め、行ってみたいと誰もが思うまちにするためのきっかけとして、昨年10月

に第1回今治クリテリウムを開催した。

創立120周年記念事業の効果も大きく、来場者数は13,000人と当初予定を大幅に上回った。

レースのほか自転車団体との連携、地域産品のPRなど地域の強みを活かした観光振興による波及効果が評価され、この度の先進地事例発表となった。

質疑応答では、実現へのプロセスや今後の展開などについての意見があり、愛媛県をあげて推進する自転車新文化の推進をPRした。

第26回おんまく 正副部会長会議を開催

2月22日(水)、午後7時から、おんまく正副部会長会議を開催した。

会議では、運営委員長（渡辺 俊）から今年のおんまくは、8月5日(土)、6日(日)に、「REBORN～再生～」をテーマに開催されることが発表された。

また、副運営委員長を4人から6人に増員して、担当部会に専念してもらうこととなった。

副運営委員長：

安永 隆、小松正義、浅川文雄、越智雅彦、長尾正人、若宮 浩（敬称略）